

恵那市子ども加算給付金支給申請書
(申請を必要とする世帯の場合)

市受付印

恵那市長 様

1. 申請・請求者(世帯主) (署名又は記名押印)

(フリガナ) 氏名	生年月日	申請者の現住所(住民票所在地)
	大正・昭和・平成 年 月 日	電話 ()

2. 給付金対象児童 ※既に支給を受けた児童分については記入しないでください。

- 対象となる児童の範囲は、以下のとおりです。
ア 令和5年12月1日時点で、上記の世帯主と同一世帯である18歳以下の児童(平成17年4月2日生まれ以降の児童)
イ 令和5年12月2日以降に生まれた新生児
ウ 別世帯だが扶養している児童

	(フリガナ) 氏名	生年月日	同居、別居の別	住所 (別居の場合のみ)
1		平成・令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
2		平成・令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
3		平成・令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
4		平成・令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	

【誓約・同意事項】 ※全ての項目を確認し、にチェック(レ)してください。 以下の全ての誓約・同意事項について確認し、誓約・同意します。

- 子ども加算給付金の支給要件(※)に該当します。
※ 以下の要件を全て満たすことが必要です。
ア 世帯の全員が、令和5年度住民税が非課税又は住民税所得割が非課税である。
イ 世帯の全員が、令和5年度住民税均等割が課税されている他の親族等の扶養を受けている世帯ではない。
(注)住民税の取り扱いとして、扶養を受けているか分からないときは、両親、子ども等、家族に確認してください。
ウ 世帯の中に、租税条約による免除の適用を届け出ている者はいない。
エ 世帯の中に、令和5年1月2日以降に入国し、課税権がない者はいない。
- ② 対象児童について、本給付金(5万円)を受給済みではありません。
- ③ 世帯の中に、住民税が課税となる所得があるのに未申告である者はいません。
- ④ 他市町村で、既に本給付金と同様となる趣旨の給付金の支給を受けた世帯ではありません。
- ⑤ 本支給要件の該当性等を審査等するため、市が必要な住民基本台帳情報、税情報等の公簿等の確認を行うこと及び必要な資料の提供を他の行政機関等に求めること及び提供することに同意します。
- ⑥ 公簿等で確認できない場合は関係書類の提出を行います。
- ⑦ 本給付金の支給後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合又は本給付金の支給要件に該当しないことが判明した場合には、本給付金を返還します。

(裏面も必ずご記入ください)

提出書類

子ども加算給付金申請書(申請を必要とする世帯の場合)(本書)

※必要事項をご記入ください。

『申請・請求者本人確認書類の写し(コピー)』

※申請・請求者の運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード(表面)、年金手帳、介護保険証、パスポート等の写し(コピー)をご用意ください。

『給付金対象児童の住民票の写し』

※別世帯で扶養指定児童を養育している場合に限る。児童の世帯の世帯員全員が記載されている、発行から1カ月以内のものをご用意ください。

※【誓約・同意事項】のチェック漏れ及び添付書類の不備はありませんか。(チェック漏れ及び添付書類の不備がある場合、給付を受けられません。)

本申立ての内容に相違ありません。

年 月 日 申請者(世帯主)氏名